

平成27年度予算の概要

学校法人 神戸薬科大学

平成27年度予算は、平成26年12月17日に開催した評議員会及び理事会において承認された予算大綱に基づき編成した。特に、本年度は、かねてから検討してきた「キャンパス整備」を中心とした事業推進に予算を重点配分した。

資金収入については、学生生徒等納付金収入は、学部の授業料を前年度と同額の年間1,800千円とし、入学予定者数を270人として積算した。手数料収入については、入学志願者数の増加を見込み、学部入学検定料他で前年度比増額とした。寄付金収入については、奨学寄付金の減少を見込み、前年度比減額とした。補助金収入は、経常費補助、学術研究振興資金他を計上した。付随事業・収益事業収入については、補助活動収入（寮費）の増収を見込み、前年度比増額とした。受取利息・配当金収入については、運用利回りの低下を見込み、前年度比減額とした。その他の収入については、第2号基本金引当資金（大型機器充実資金）からの繰入分他を計上した。

資金支出については、施設・設備関係支出は、「キャンパス整備」の一環として8号館設計・解体工事をはじめ、5号館空調設備改修（前年度・今年度にて実施）、3・5・7号館外壁・屋上防水改修他を計上し、また、大型機器（NMR）更新、委員会選定の研究用機器や実習用機器の購入他を計上した。教育研究経費支出については、経常の研究室配分研究費を中心に、長期実務実習関係費、共用試験関係費、5号館空調設備改修に伴う実験動物飼育外部委託費など教育研究体制の充実を図るための計上を行った。また、知的財産に関する規程整備により特許出願費等を計上した。管理経費支出については、経常費の節減に努め、前年度比減額とした。資産運用支出については、今後の「キャンパス整備」に係る支出に備え、第2号基本金引当資金を増額する他、第3号基本金引当資金をそれぞれ積立計上した。

以上の結果、翌年度への繰越金は、前受学生納付金を上回るが、予算執行に際しては一層の支出削減に努めたい。

I. 資金収支

1. 資金収入

(1) 学生生徒等納付金収入

学部学生授業料は、新入生270人・2年次生315人・3年次生281人・4年次生326人・5年次生265人、6年次生250人を1,800千円とし、入学金は400千円とした結果、その他と合わせ前年度比16,300千円増の3,247,200千円を計上した。

(2) 手数料収入

学部入学検定料は入学志願者数の増加を見込み、センター入試を含めて97,000千円と想定し、その他の手数料と合わせ前年度比18,800千円増の112,800千円を計上した。

(3) 寄付金収入

奨学寄付金他で前年度比10,000千円減の15,000千円を計上した。

(4) 補助金収入

経常費国庫補助金は、特別補助を含め290,000千円、学術研究振興資金4,000千円、その他の補助金を合わせ合計297,100千円を計上した。

(5) 付随事業・収益事業収入

補助活動収入は、前年度実績を勘案し、寮生の現員に合わせ、32,500千円を計上し、受託事業収入5,000千円と合わせて前年度比3,000千円増の37,500千円を計上した。

(6) 受取利息・配当金収入

運用資金の27年度期中予想95億円を、利回り平均0.8%で運用するとして、前年度比15,000千円減の76,300千円を計上した。

(7) 雑収入

退職金財団交付金62,000千円他、合計86,000千円を計上した。

(8) その他の収入

第2号基本金引当資金（大型機器充実資金）30,000千円、退職給与引当資金25,000千円繰入れの他に、前期末未収入金57,000千円と合わせ合計112,000千円を計上した。

2. 資金支出.

(1) 人件費支出

人件費は、教員 86 人と職員 46 人及び非常勤教員とアルバイト職員等の給与に退職金を合わせ、1,684,000 千円を計上した。

(2) 教育研究経費・管理経費支出

- ・教育研究経費：経常経費は引き続き節減に努めるが、長期実務実習関係費 217,300 千円、共用試験関係費 28,600 千円、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業関係費 20,000 千円に加え、5 号館空調設備改修に伴う実験動物飼育外部委託費 25,000 千円、特許に関する事前相談費・出願費 5,000 千円他の新規案件があるため、前年度比 6,900 千円増の 1,186,300 千円を計上した。
- ・管理経費：研究室環境測定費 8,500 千円、備品管理システム 8,200 千円、ホームページ運用派遣社員費用 5,000 千円等により、前年度比 16,200 千円減の 299,800 千円を計上した。

(3) 借入金等利息・借入金等返済支出

前年度にて日本私立学校振興・共済事業団からの借入金返済完了により、借入金等利息・借入金等返済支出の計上はなし。

(4) 施設・設備関係支出

- ・施設関係支出：5 号館空調設備改修 174,700 千円、8 号館設計・解体工事 93,000 千円、3・5・7 号館外壁・屋上防水改修 41,000 千円、5 号館動物実験施設内装改修 19,200 千円、薬用植物園内補修 13,500 千円、各号館トイレ改修 8,300 千円他で 369,300 千円を計上した。
- ・設備関係支出：大型機器（NMR）更新 76,000 千円、10 号館空調 GHP 更新 41,000 千円、研究用機器費 30,000 千円、実習用機器費 3,500 千円、4・5 号館講義室照明更新 6,500 千円、ウィルスチェックサーバ更新 6,000 千円、図書費 9,200 千円他で 223,600 千円を計上した。

(5) 資産運用支出

第 2 号基本金引当資金（教育環境整備資金）を前年度の 200,000 千円から 500,000 千円に積み増す他、第 2 号基本金引当資金（大型機器充実資金）20,000 千円、第 2 号基本金引当資金（施設設備整備資金）50,000 千円、第 3 号基本金引当資金 10,000 千円の計 580,000 千円を計上した。

(6) 予備費

各科目の予備として 20,000 千円を計上した。

(7) 翌年度繰越支払資金

翌年度繰越支払資金は 648,800 千円となり、前受金収入 390,500 千円は維持できる。

II. 事業活動収支

事業活動収支については、教育活動収支差額 97,500 千円、教育活動外収支差額 76,300 千円を合わせ、経常収支差額が 173,800 千円の収入超過となり、特別収支や予備費を含めた基本金組入前の当年度収支差額が 153,800 千円の収入超過となるが、ここから基本金 1,138,700 千円を組入れした当年度収支差額は△984,900 千円の支出超過となる。これにより翌年度繰越収支差額が△404,600 千円の支出超過となるため、前年度以上に経費節減を進め、収支の改善に努力したい。